

令和7年度実践的放射線治療人材育成セミナー 第2回広島神戸放射線治療研究交流会を開催しました！

令和7年9月6日（土）に第2回広島神戸放射線治療研究交流会を開催いたしました。

平成30年12月より年2回、HIPRAC、広島大学、神戸大学、神戸低侵襲がん医療センター等の広島や神戸の最先端放射線治療施設が集まり開催していた医学物理医研究交流会を、医師の研究発表も行う交流会として、今年から「広島神戸放射線治療研究交流会」と改名しました。

今回、現地23名、ウェブ6名の合計29名にご参加いただき、最先端の放射線治療関連の研究開発に関する発表が行われました。

時間	項目	所属・氏名
14:00-14:05	開会の挨拶	広島大学 村上 祐司
14:05-16:15	頭頸部癌患者に対するAI予後予測モデル汎用化に向けた施設間バイアス補正手法の開発	広島大学 青木 翔吾
	頭頸部領域におけるAIベースと従来法の自動輪郭描出精度の比較検討	神戸大学 石田 知也
	不均質補正の第三者評価法の開発と実践	HIPRAC 中尾 稔
	頭頸部IMRTにおける再治療計画時期の予測	神戸大学 椋本 成俊
	唾液腺癌に対する放射線治療の検討	広島大学 三好 章太
	消化管近接悪性腫瘍に対する吸収性スパーサ併用高精度放射線療法のfeasibility study	神戸大学 川口 弘毅
	AI共同研究の進捗報告	広島大学 河原 大輔
	技術支援活動他の進捗報告	HIPRAC 小澤 修一
16:15-16:55	総合討論	
16:55-17:00	閉会の挨拶	神戸大学 佐々木 良平

総合討論では、放射線治療の最先端の研究や技術支援だけではなく、放射線治療の将来像や研究開発の方向性、学術大会のあり方などに関する熱い議論が交わされ、素晴らしい交流となりました。

HIPRACでは引き続き、放射線治療に携わる医療人材の育成を継続していきます。今後も各種セミナーを企画・検討しておりますので、みなさまぜひ奮って、ご参加下さい！！



広島県外の施設との
交流も活発に行って
います！

